

仕事を通じた奉仕と地域愛

（榎原ランドリー）

多久 悟史さん（佐見）

洗匠屋誕生のいきさつ

「事業を持続するにはどうしたらいいか」という模索を続け、インターネットやスマホでの受注も検討しましたが、ネット上での宅配クリーニングは価格競争なので、大手には勝てません。

ある日、登山好きな多久さんは、仲間から「登山で着る服のクリーニングを断られてしまふ」と聞きました。自分の登山服を洗っていた多久さんは、習得していた技術を応用して研究を重ね、お客様が満足する洗濯と撥水技術を磨いたのです。そこでインターネットを利用し、アウトドア用品

に特化したクリーニング店（洗匠屋）が誕生したのです。

リピーターがいらない？

多久さんの技術の高さが伺えるエピソードがあります。

1年に1回のメンテナンスを勧める洗匠屋をスタートして2年目。リピーター注文はほぼないし、クレームも来ない。心配になった多久さんは知人に尋ねたところ「撥水性が良すぎて、申し訳ないけど2年はいける」と、お客様の意外な返事に驚き、喜びました。口コミで広がった洗匠屋の登録者は1000名を超え、



丁寧に手作業で



熱い思いを語る多久さん

リピーターも増えているといえます。ネットクリーニング店にはないお客様との会話（やり取り）も多く、お客様から感謝の手紙をもらうこともあ

大切にしたい地域の絆

車での集配は、町内全域と周辺地域です。移動手段が限られた高齢者には特に喜ばれており、社員には「地域の人の対話を大事にし、困りごとにも対応するように」と言っています。

カギをかける家も増えてきましたが、それでも集配を続けるのは、地域の見守り役を担っている大切な業務だと認識しているからです。

ゆるがぬ飯南愛

洗匠屋のホームページには飯南町の紹介ページがあります。「そこまでしますか？」とかなり言われました(笑)。町の紹介ページまで作れば制作料も高くなりますからね。

「飯南町を知ってもらいたい。知ってもらわんといけないし、着地してもらわんといけない」「町のことを分かってくれる人が一人でも多くなれば交流人口も増える。人口が増えれば町が潤う。潤えば僕らのところにも循環する」。

ホームページを見て、県外から来店したお客様もいるというから驚きです。多久さんの飯南愛が伝わった結果だと思えます。



しみぬき不入流(いらざりゅう)の技で汚れ除去中

募集

「明日を拓く」で取り上げてほしい会社や個人、団体、行事やイベントなどの情報をお寄せください。取材に伺います。議会報の表紙に使う写真の募集もあわせて行います。自薦他薦は問いません。皆様からのご応募をお待ちしています。

《応募先》飯南町議会事務局 0854-76-2190

今月の
表紙写真



「お待たせしました」と仕上がったものを手渡す。

洗匠屋の丁寧な仕事と宅配サービスは多くの町民に喜ばれています。店舗では、頼まれると髭剃りシェーバーの付け替えや、キャッシュレス決済の利用方法を教えてあげることなどもあ